

CYBER HPC SYMPOSIUM

2016

大阪大学サイバーメディアセンター サイバー HPC シンポジウム

2016年3月25日(金)
参加費無料 (受付開始 9時)

会場

大阪大学

サイバーメディアセンター本館
(吹田キャンパス)
サイバーメディアcommons

本年度のシンポジウムでは、大規模計算・可視化に携わる産学の専門家をお迎えし、本センターの大規模計算機システム・可視化システムの利活用事例、および最新の研究開発動向を踏まえつつ、高性能計算を進展させる可視化と大規模可視化技術を支える高性能計算をテーマに考えます。

《申し込み方法》

2016年3月10日(木)までに下記のウェブ申し込みURLより直接お申し込み下さい。

http://www.hpc.cmc.osaka-u.ac.jp/lec_ws/cyberhpcsympo-2nd/



阪急バス 阪大本部前バス停から徒歩 約 5分
大阪モノレール 阪大病院前駅から徒歩 約 15分

プログラム

- 09:30-09:40 挨拶
大阪大学 サイバーメディアセンター センター長・教授
下條 真司
- 09:40-10:30 基調講演「HPCと可視化」
神戸大学 大学院システム情報学研究所 計算科学専攻 教授
陰山 聡
- 10:30-10:50 休憩
- 10:50-11:30 流体と構造物の連成解析および粒子混相乱流の可視化事例
大阪大学 大学院工学研究科 機械工学専攻 准教授
竹内 伸太郎
- 11:30-12:00 サイバーメディアセンターの可視化事業について
大阪大学 サイバーメディアセンター サイバーコミュニティ研究部門 講師
安福 健祐
- 12:00-13:30 昼食休憩
- 13:30-14:10 招待講演「大規模データ解析におけるディープラーニング活用とGPUによる可視化技術のご紹介」
エヌビディア合同会社 エンタープライズビジネス事業部 シニアマネージャー
井崎 武士
エヌビディア合同会社 エンタープライズビジネス事業部 シニアマネージャー
岩田 茂人
- 14:10-14:50 大規模可視化とHPCの活用で促進させる
高分子ナノ複合材料研究
防衛大学校 応用科学群 応用物理学科 講師
萩田 克美
- 14:50-15:30 G空間防災情報におけるスーパーコンピュータの活用
ーリアルタイム津波シミュレーションー
日本電気株式会社 第一官公ソリューション事業部 事業部長代理
撫佐 昭裕
- 15:30-16:15 休憩 (24面大型立体表示システムのデモあり)
- 16:15-17:45 パネルディスカッション
「HPCのための可視化、可視化のためのHPC」
《座長》
大阪大学 サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門 准教授
清川 清
《パネリスト》
名古屋大学 情報基盤センター 大規模計算支援環境研究部門 准教授
荻野 正雄
神戸大学 大学院システム情報学研究所 計算科学専攻 講師
坂本 尚久
大阪大学 歯学部附属病院 医療情報室 助教
野崎 一徳
海洋研究開発機構 地球情報基盤センター 先端情報研究開発部 技術研究員
松岡 大祐
日本SGI株式会社 テクニカルサービス統括本部 担当シニア・マネージャ
朝倉 博紀
- 18:00 レセプション
場所: 銀杏クラブ (銀杏会館内) 会費: 2500円



主催: 大阪大学サイバーメディアセンター
協賛: 学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点

大阪大学情報推進部情報企画課総務係 TEL:06-6879-8805
E-mail: z Yosui-kikaku-soumu@office.osaka-u.ac.jp